# 2016年度社会学科/文学部人文学科社会学専攻学事報告

## 「学部・大学院担当教員]

2016年度(平成28年度)人間科学部社会学科は、秋吉美 都、宇都榮子、大矢根淳、勝俣達也、金井雅之、川上周三、 後藤吉彦、今野裕昭、嶋根克己、永野由紀子、馬場純子、樋 口博美、広田康生、藤原法子(教授11名、准教授3名計14 名) の専任教員体制で教育が行われた。なお、昨年度就任の 服部あさ子助教が、人文科学・社会科学系科目(社会学 102・201) を担当した。

大学院は、秋吉美都、宇都榮子、大矢根淳、勝俣達也、金 井雅之、川上周三、後藤吉彦、今野裕昭、嶋根克己、永野由 紀子、馬場純子、樋口博美、広田康生、藤原法子と鐘ヶ江晴 彦教授の計15名の専任教員体制で教育が行われた。

2016年度の兼任講師にご出講いただいた先生方は、浅野幸 子(社会学入門=神田、現代の社会学=神田、社会学101・ 102=神田二部)、大崎裕子 (データ分析法実習、統計学実 習、多変量解析法実習)、奥山敏雄(社会学特殊講義 D)、吉 良洋輔(社会調査実習 A·B)、久保山亮(社会学特殊講義 F、エリアスタデイーズB-2)、小藪明生(質的分析法)、 権香淑 (エリアスタディーズ B-1、社会学入門、現代の社 会学)、庄司俊之(社会学入門、現代の社会学)、徐玄九(社 会学入門=神田、現代の社会学=神田)、田中康裕 (データ 分析法実習、統計学実習)、月田みづえ(社会学特殊講義 E)、深谷直弘(地球環境問題)、福重清(質的分析法)、渕 元初姫(地方自治論)、三澤一孔(国際協力論)、見田朱子 (データ分析法実習、統計学実習)、室井康成(民俗学1・ 2)、吉原直樹(多文化共生国際社会論、社会学原論1・2) の諸先生であった。

なお、社会学研究教員室等の運営・管理補助業務には、小 泉亜紀氏が2015年度をもって退職したため、後任として平川 千香子氏が入職し、2016年度は栗田智美氏とともに非常勤職 員として勤務された。

### [学科学生・院生(2016年5月1日現在)]

2016年度人間科学部社会学科在籍者は、1年次生139名、 2年次生137名、3年次生135名、4年次生144名、5年次生 以上19名(文学部人文学科社会学専攻1名を含む)計574名 であった。

大学院文学研究科社会学専攻の院生は、修士課程1年次生 2名、2年次生2名、3年次生1名、博士後期課程は1年次 生2名、5年次生1名、6年次生1名の合計9名であった。

# <2016年度>

3.26 - 4.4	学部ガイダンス期間
3.31	社会学科1年次生専修大学入門ゼミナール台
	同授業
4.5	入学式(日本武道館)

#### 4.6 - 7.30前期授業期間

- 社会学科1年次生専修大学入門ゼミナール合 4.6
- 同授業 (新入生歓迎行事) 7.2 大学院修士課程学内選考入学試験
- 7.20大学院修士論文中間報告会
- 7.25 7.30前期試験期間
- 専修社会学会第1回研究会 7.27報告者: 永野由紀子教授

題日:「世界遺産登録後のバリ島棚田農村の 変化:在外研究の感想をまじえつつ」

8.1 - 9.16夏期休暇

<夏期学外授業>(社会調査実習)

8.1 - 8.3大矢根淳教授担当社会調査実習

宮城県石巻小渕

8.1 - 8.3樋口博美教授担当社会調査実習

石川県金沢市、加賀市

8.1 - 8.3広田康生教授担当社会調査実習

群馬県邑楽郡大泉町

8.31 - 9.2勝俣達也准教授担当社会調査実習

東京都墨田区

9.1 - 9.3後藤吉彦准教授扫当社会調查実習

大阪府大阪市西成区

9.4 - 9.7嶋根克己教授担当社会調査実習

宮城県気仙沼市

9.5 - 9.6川上周三教授担当社会調査実習

> 東京都墨田区役所、日本基督教団東駒形教 会、本所賀川記念館、賀川豊彦記念松沢資料

館、日本基督教団松沢教会

吉良洋輔兼任講師担当社会調査実習 9.6 - 9.7

専修大学

9.12 - 9.15馬場純子教授担当社会調査実習

長野県上田市、ライフステージかりがね、ア

ザレアンさなだ

9.14 - 9.16宇都榮子教授担当社会調查実習

長野県社会福祉法人湖会、児童養護施設松代

福祉寮、長野県中央児童相談所

- 9.17 1.30後期授業期間
- 専門ゼミナール入ゼミガイダンス 9.28
- 9.30 大学院課程博士論文提出期限

人、留学生)

9.30 - 10.28専門ゼミナール入ゼミのための研究室訪間期

10.8 大学院修士課程第Ⅰ期入学試験(一般、社会

10.13 修士論文題目届

- 10.30 大学記念日
- 11.3 11.6鳳祭

11.8	専門ゼミナール入ゼミレポート提出締切		学歴の相対的価値の時代変化をふまえて―」
11.9	大学院修士論文中間報告会		(講評:修士課程鮑佳)
11.30	大学院博士論文中間報告会		第2報告:入山愛(宇都ゼミ)「知的障害者
12.15	卒業論文提出締切日		の自立に関する考察―教育及び就労という観
12.26 - 1.7	冬期休暇		点から―」
1.7	外国人留学生入学試験		(講評:修士課程金子昌富)
1.11	文献研究 A/社会調査実習 A 履修ガイダンス		第3報告:水田夕稀 (今野ゼミ)「公共施設
1.16	大学院修士論文提出期限		の統廃合や機能転換における協働―東京都多
1.14 - 1.15	大学入試センター試験		摩市の事例をもとに―」
1.23 - 1.27	卒業論文口述試験期間 (定期試験期間)		(講評:特別聴講生ヒューゲル・ティナ)
1.24 - 30	後期試験期間		文献研究 A・社会調査実習 A・B 希望提出
1.30	大学院修士論文口述試験	2.1	スカラシップ入試・全国入試
1.31	専修大学社会学会大会・総会	2.9 - 2.13	一般前期入学試験
	<総会>13:30~14:00	2.18	大学院修士Ⅱ期博士後期入学試験
	開会の辞・司会:川上周三		社会学科兼任講師懇談・懇親会
	1. 会長挨拶:宇都榮子	2.28	一般後期入学試験
	2. 事業報告:研究会報告-川上周三、会計	3.8	編入学・学士入学試験
	報告-勝俣達也、会計監査報告-大矢根淳	3.15	『人間科学論集社会学篇』第7巻第2号刊行
	<大会(代表論文報告)>14:00~15:30	3.22	学部卒業式 (日本武道館)、大学院学位授与
	司会:博士後期課程藤代将人		式 (修士博士課程)
	第1報告:石橋挙(金井ゼミ)「相対的リス		〔記:馬場純子〕
	ク回避モデルの三世代間学歴移動への拡張—		